

阿波市全庁評価シート 平成27年度実施事業対象

PLAN	No.	11	1	基本事務事業名	人権啓発地方委託事業	事務事業名	人権啓発活動事務	公的関与	5	シート作成日	平成28年6月30日		
	部局名	市民部		課名	人権課	主務課長名	大森章司	シート作成者名	小山大介				
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託		
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり			実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(1)人権尊重社会の確立			<input type="radio"/> 1 該当		平成	年	～	平成	年
			主要施策		(2)あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進			<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等	人権啓発活動再委託要綱		
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民									
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	すべての人々の人権が尊重され、相互に共存し得る平和で豊かな社会の実現。								
			今年度	人権問題講演会の開催や、人権擁護委員と連携・協力し啓発活動を行うことによって、市民の人権意識高揚を図ります。									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 人権問題講演会を市内4中学校で開催します。(対象:各校生徒・教員・市職員・市民)												
	② 「人権の花運動」として、小学校へ花を贈り、栽培を通じて命の大切さや相手への思いやりや気持ちよさを育ませ、豊かな人権感覚を身に付けてもらう運動を開催します。												
	③ 中学生によるプラカード隊・小学生による鼓笛隊を先頭に、人権擁護委員・市職員・教員が啓発物品を配布する人権啓発パレードを実施します。												
	④ 植物の栽培・収穫を通じていのちの循環を体験してもらう「いのちのリレープロジェクト」を、人権擁護委員と共に幼稚園・小学校で実施します。												
		⑤											
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標			
	人権問題講演会	市内4中学校にて開催		回・人	目標	4回・1,500人	4回・1,500人	4回・1,500人	4回・1,500人				
		開催数・参加人数			実績	4回・1,410人	4回・1,250人						
	人権の花運動	開催数・参加人数		回・鉢	目標	1回・150鉢	1回・150鉢	1回・150鉢	1回・150鉢	1回・150鉢			
					実績	1回・150鉢	1回・150鉢						
	人権パレード	年1回開催		回	目標	1回	1回	1回	1回	1回			
		実績	1回		1回								
予算費目	会 計	款				項	目		備考				
DO			平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算								
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円						
		県支出金	1,032 千円		945 千円		801 千円						
		地方債	千円		千円		千円						
		その他特定財源	千円		千円		千円						
		一般財源	千円		35 千円		128 千円						
	計(A)	1,032 千円		980 千円		929 千円							
人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	2,887 千円	0.500 人	2,905 千円	0.450 人	2,619 千円						
	臨時・嘱託職種												
	臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
全体事業費(A+B)		3,919 千円		3,885 千円		3,548 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価		
		1.	2.	3.	4.	総合	○ 少ない	● 大きい	人権とは「人が人らしく生きていくために社会により認められている権利」であり、何からも犯されることなく尊重されなければなりません。人権意識を醸成させるこの事業の実施は、社会にとって必要不可欠であり、継続して	○ 少ない	● 大きい			
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	● 大きい								○ 少ない	● 大きい	
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	● ある									○ ない	● ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	● ない									○ ある	● ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	● いない									○ いる	● いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	● いえる					各種事業後のアンケートでは、9割超の参加者が「人権に関する意識が深まった」と回答しており、事業の有効性が明確に現れています。今後も効果的な実施方法を模索していきます。	○ いえない	● いえる			
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	● いえる						○ いえない	● いえる			
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	● しない						○ する	● しない			
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	● できる						○ できない	● できる			
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている						講演会の参加者数、特に市民のそれが下がる傾向にあります。今後はより効果的な広報手段を検討し、多くの方に参加してもらえるよう努めるとともに、講師選択などにおいっそうの努力をいたします。	○ 目標に比べて劣っている				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない							○ あまり上がっていない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	● 概ね達成している							○ 概ね達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している							● 十分達成している				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当					各事業の実施手段・内容については、それが適切か・効果的か否かを常に見直していかなければならないと考えます。	○ 高い	● 適当			
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	● できない						○ できる	● できない			
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	● ある	○ ない						○ ある	● ない			
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない						○ ある	● ない			
ACTION	評価点	一次評価					二次評価							
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
	今後の方向性	4	4	3	3	A	4	4	4	4	A			
		○ 拡大・充実	○ 現状維持	● 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等				
	当面の課題	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止					
		講演会や人権パレード等、一般参加者を対象とした事業については、啓発効果を大きくするため、より多くの方に参加をしていただくように努めていかなければならないと考えます。また、予算が年々縮小傾向にあるため、コストに見合う効果的な啓発事業について、その内容を絶えず見直していかなければなりません。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 人権啓発は、地道な活動であり、大々的の根幹をなすものです。限られた予算で講師の選択にも悩まれることと思いますが、関係部局とも協議をし、心、感性に訴え続けて下さい。ただ、市民・職員等への参加に尚努力をお願いします。							
改革案と実行計画	市ホームページ・ケーブルテレビの活用など、よりよい周知・広報の方法を考えていきます。加えて、現行の事業内容に限らず、違う形で啓発活動を行うことが出来るかを模索していきます。													
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 平成27年度実施事業対象

PLAN	No.	11	基本事務事業名	人権擁護委員活動事業	事務事業名	人権擁護委員活動事務	公的関与	4	シート作成日	平成28年6月30日			
	部局名	市民部		課名	人権課	主務課長名	大森章司	シート作成者名	小山大介				
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託		
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり			実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(1)人権尊重社会の確立			<input type="radio"/> 1 該当		平成	年	～	平成	年
	主要施策		(1)人権教育・啓発推進体制の整備			<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等	人権擁護委員法				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市民										
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	全ての人々が尊重され、相互に共存し得る平和で豊かな社会の実現。									
			今年度	阿波市内に特設人権相談所を開設し、市民等の人権を遺漏なく守ります。植物の栽培・収穫のサイクルを通してのちの循環を体感してもらう「いのちのリレープロジェクト」を幼稚園・小学校で進めるとともに、量販店等での街頭啓発を行うなど、幅広い年代を対象とする人権啓発を推進してゆきます									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 特設人権相談を毎月、市内2会場で2回開催します。												
	② 植物の栽培・収穫のサイクルを通じていのちの循環を体感してもらう「いのちのリレープロジェクト」を、幼稚園・小学校で実施します。												
	③ 街頭啓発を市内量販店等で実施。啓発物品を配布しながら、人権啓発を行います。												
	④ 広報車にて啓発広報を行ったり、文字放送・広報紙記事等を活用して啓発活動を推進し、市民の人権意識の高揚を図ります。												
⑤													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標			
	特設人権相談の開設		毎月市内2箇所で開催		回	目標	50回	50回	50回	50回			
						実績	39回	37回					
						目標							
						実績							
						目標							
					実績								
DO	予算費目	会 計	款			項			目				
			平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備考							
	直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円					
		県支出金		千円		千円		千円					
		地方債		千円		千円		千円					
		その他特定財源		千円		千円		千円					
		一般財源		350 千円		350 千円		350 千円					
	計(A)		350 千円		350 千円		350 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	2,887 千円	0.500 人	2,905 千円	0.450 人	2,619 千円					
		臨時・嘱託職種											
臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
全体事業費(A+B)			3,237 千円		3,255 千円		2,969 千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	○ 少ない	● 大きい	人権擁護委員の設置は法律で義務付けられております。また、擁護委員は、市民の基本的人権が侵犯されたときは救済支援等を行うなど、人権思想普及高揚に努めています。人権擁護委員の活動について、支援する必	○ 少ない	● 大きい		
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	● 大きい	人権擁護委員活動を支援することにより、市民の基本的人権が守られ、人権意識の高揚が促進されて、安心できる住みよい町づくりが実現します。	○ 少ない	● 大きい						
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	● ある		○ ない	● ある						
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない						
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	● いない		○ いる	● いない						
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	● いえる	定期的の特設人権相談を開設していること、ボランティアで学校・幼稚園関係・社会福祉施設等へ訪問し、積極的に人権意識の普及高揚活動を行っていること等を鑑みて、目標は達成できていると考えます。	○ いえない	● いえる						
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	● いえる		○ いえない	● いえる						
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	● しない		○ する	● しない						
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	● できる		○ できない	● できる						
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている	人権擁護委員10名とも、阿波市全体を対象に効率的に活動しています。	○ 目標に比べて劣っている								
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない		○ あまり上がっていない								
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している		○ 概ね達成している								
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	● 十分達成している		● 十分達成している								
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当	人権擁護委員10名とも、阿波市全体を対象に効率的に活動しています。	○ 高い	● 適当						
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	● できない		○ できる	● できない						
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない						
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない						
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
	今後の方向性	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等			
		○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止	○ 縮小		○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止					
	当面の課題	平成21年1月に徳島地方法務局管内の徳島地区協議会に加盟し、広く他地域の活動を見聞したこと、また活動拠点となる事務所(吉野支所北)を提供したこともあり、自主的かつ積極的に、阿波市全体の人権意識の普及・高揚のための活動を行っています。					限られた予算の中で、日々工夫を凝らした人権啓発活動が行われていることに感謝します。今後とも連携を密にし、活動の総括もしながら継続した取り組みをしてください。						
	改革案と実行計画	思考錯誤しながら、自主的にさまざまな活動を実施しています。人権啓発活動のネットワーク体制の強化を図るため、人権擁護委員活動に対し必要に応じた連携強化・支援がなされるべきと考えます。											
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成27年度実施事業対象

PLAN	No.	11	—	3	基本事務事業名	公会堂・老人ルーム管理運営事業	事務事業名	公会堂・老人ルーム管理運営事業	公的関与		シート作成日	平成28年6月30日	
	部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	大森 章司		シート作成者名	兼中 豊久		
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託		
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input checked="" type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり		実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(3)コミュニティ活動の促進		<input type="radio"/> 1 該当		平成	年	～	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
			主要施策		(2)コミュニティ施設の整備		<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等	公会堂・老人ルーム条例			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民									
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	各行事・集会のため、会場を提供することで生活を健全で豊かなものとし、社会福祉の増進を図ります。また、災害時の自主避難場所として提供し、市民の生命を守ります。								
			今年度		各公会堂・老人ルームにおいては、老朽化が進んでおり、破損箇所が多く見られます。各行事・自主避難時に安全に使用出来るよう年次的に修繕を行います。								
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 各施設を訪問・点検すると共に、管理人に修繕箇所等の報告依頼し、修繕箇所を設定します。												
	② 破損箇所の早期発見。												
	③ 施錠等の施設管理。												
	④												
	⑤												
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標			
						目標	300回・2,000人	300回・2,000人	300回・2,000人				
						実績	198回・1,628人	208回・1,640人					
						目標							
						実績							
						目標							
					実績								
DO	予算費目		会 計		款		項		目		備考		
			平成 26 年度決算		平成 27 年度決算		平成 28 年度予算						
	直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円					
		県支出金		千円		千円		千円					
		地方債		千円		千円		千円					
		その他特定財源		千円		千円		千円					
		一般財源		3,417 千円		4,572 千円		4,190 千円					
		計(A)		3,417 千円		4,572 千円		4,190 千円					
	人件費(B)	正職員工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円				
		臨時・嘱託職種											
臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
全体事業費(A+B)		3,417 千円		4,572 千円		4,190 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
		1.	2.	3.	4.	総合	○ 少ない	● 大きい	地域	○ 少ない	● 大きい	○ 少ない	● 大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	● 大きい	地域の会合や人が交流できる場所を提供することで生活を健全で豊かなものとし社会福祉の増進を図ることが出来るとともに、災害時の身近な自主避難場所として必要です。	○ 少ない	● 大きい						
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	● ある		○ ない	● ある						
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない						
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	● いない		○ いる	● いない						
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	● いえる	修繕により、使用していなかった公会堂を近隣の市民が清掃し色々な会合に使用する事例があり、今後、他の利用の少ない施設についても修繕することで利用後向上が図れます。	○ いえない	● いえる						
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	● いえる		○ いえない	● いえる						
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	● する	○ しない		○ する	● しない						
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	● できる		○ できない	● できる						
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている	施設が多いため、十分とはいえないが、年次的に修繕し市民の交流と地域の会合の場を提供します。	○ 目標に比べて劣っている								
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない		○ あまり上がっていない								
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	● 概ね達成している		○ 概ね達成している								
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している		● 十分達成している								
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当	予算にあわせ年次的に実施しています。ただ今後の公共施設の管理運営については、財政面や市民の行政参加の視点から自主管理運営の検討も必要です。	○ 高い	● 適当						
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	● できない		○ できる	● できない						
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	● ある	○ ない		○ ある	● ない						
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない						
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
	今後の方向性	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等			
		○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止	○ 縮小		○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止					
	当面の課題	施設が多いのですが、老朽化している施設も多く、全館で安全に使用出来るよう破損個所の修繕が必要です。					公共施設の設置目的の検証が図られつつあります。再度地域の利用状況並びに市民要望の把握に努めて下さい。						
	改革案と実行計画	安全に使用出来るよう年次的に修繕していきます。破損個所を早めに発見し修繕費用を少なくします。使用度を上げるために地域活性化事業等を利用し、講座等開催し市民の利用できる機会を確保します。											
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成27年度実施事業対象

PLAN	No.	11	—	4	基本事務事業名	隣保館管理運営事業	事務事業名	隣保館管理運営業務	公的関与		シート作成日				
	部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	大森 章司		シート作成者名	上田 尚子				
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1)人権尊重社会の確立				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(3)隣保館事業の充実				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等					
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		市民(周辺地域住民)											
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、地域社会に密着し各種相談事業を総合的に 行い、人権問題に対する活動、解決をすることを目的としています。										
				今年度	隣保館が目指す「福祉と人権の町づくり」の拠点施設としての推進を図ることが大きな役割です。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 各種相談事業(職業相談・人権相談・生活相談・教育相談)														
	② 地域交流事業(生花・硬筆書道・ビジョンヨガ講座・ぱあわーあっぷ・人権問題学習会(水友会・ひよこの会)・館まつり)														
	③ 啓発・広報活動(パネル展・啓発講演・館だよりの発行)														
	④ 地域福祉事業(独居老人交流会)														
	⑤ 施設利用の充実(親子会・外国人研修会・スポーツ少年団交流会・退公連本部役員会・地域資源保全隊・音楽練習ほか)														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標					
	施設利用	年間延べ利用者数		人	目標		28000	28200	28000						
					実績		24230	25553							
	地域交流事業	年間参加延べ人数		人	目標		11000	12100	12000						
					実績		10793	8874							
	広報活動事業	年間実施延べ回数		回	目標		36	36	36						
					実績		36	36							
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	5	隣保館管理費
			平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円				
		県支出金	8,958		千円			10,522	千円		6,347		千円		
		地方債			千円			千円							
		その他特定財源			千円			22	千円		40		千円		
		一般財源	6,661		千円			6,712	千円		8,268		千円		
		計(A)	15,619		千円			17,256	千円		14,655		千円		
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.000	人	5,774	千円	1.000	人	5,809	千円	1.000	人	5,819	千円	
		臨時・嘱託職種	隣保館館長				隣保館館長				隣保館館長				
臨時・嘱託工数・経費		9.000	人	16,200	千円	9.000	人	16,200	千円	7.500	人	13,500	千円		
全体事業費(A+B)				37,593	千円			39,265	千円			33,974	千円		

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価		
		1.	2.	3.	4.	5.	○ 少ない	● 大きい	隣保館はあらゆる人権問題の解決に資すると目的を持ち、地域住民の実態、ニーズを十分に把握し、周辺地域のコミュニティセンターとして地域作りや、自主活動の支援の場として必要性は大きいです。	○ 少ない	● 大きい			
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	● 大きい										
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	● ある										
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	● ない										
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	● いない										
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	● いえる					啓発・広報事業での館だよりの充実により講座、人権啓発を行っています。また、独居高齢者宅訪問をするなど有効な事業と考えられます。	○ いえない	● いえる			
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	● いえる						○ いえない	● いえる			
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	● する	○ しない						○ する	● しない			
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	● できる						○ できない	● できる			
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている						阿波市に隣保館が4館あり、各館によって利用者数はまちまちではありますが、講座生の増加、相談事業の充実により目標に概ね達しています。	○ 目標に比べて劣っている				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない							○ あまり上がっていない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	● 概ね達成している							○ 概ね達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している							● 十分達成している				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当					小学校、ふれあいクラブ、ばあわあつぷとの連携をとり効率的に運営しています。	○ 高い	● 適当			
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	● できない						○ できる	● できない			
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	● ない						○ ある	● ない			
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない						○ ある	● ない			
ACTION	評価点	一次評価					二次評価							
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
	今後の方向性	4	3	3	4	A	4	4	4	4	A			
		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等				
	当面の課題	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止					
		隣保館として開かれたコミュニティセンターをめざします。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 地域住民の要望に応えると共に、地域の方々の連帯・交流の場として、今後も努力してください。							
改革案と実行計画	館だよりの充実を図り、人権啓発を行います。													
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 平成27年度実施事業対象

PLAN	No.	11	7	基本事務事業名	住宅新築資金等貸付事業	事務事業名	住宅新築資金等貸付事業	公的関与		シート作成日	平成28年7月4日		
	部局名	市民部		課名	人権課	主務課長名	大森 章司		シート作成者名	兼中 豊久			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託		
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)		4. 生活基盤の充実したまちづくり			実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(2)住宅施策の推進			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成	年	~	平成	年
	主要施策		(2)良質・安全な住宅建設及び改修の促進			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		住宅新築資金等貸付借入者									
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	貸付金全ての償還									
			今年度	償還率向上のための徴収強化									
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 滞納徴収(催告書発送・電話催告・訪問徴収)												
	② 消し込み(徴収原簿・償還台帳)												
	③ 補助金申請(補助金申請事務)												
	④ 実績報告書作成												
	⑤ 貸付事業償還状況調書作成												
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由	単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標				
	貸付事業償還額	住宅新築資金等償還額(現年度)		円	目標	1,200,000	1,100,000	756,936					
					実績	756,936	756,936						
	貸付事業償還額	住宅新築資金等償還額(過年度)		円	目標	3,500,000	3,500,000	3,500,000					
					実績	1,781,857	2,951,627						
						目標							
					実績								
DO	予算費目	会 計	款			項			目			備考	
			平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算								
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円						
		県支出金	1,702 千円		1,634 千円		1,651 千円						
		地方債	千円		千円		千円						
		その他特定財源	2,538 千円		1,719 千円		688 千円						
		一般財源	1,557 千円		2,200 千円		885 千円						
		計(A)	5,797 千円		5,553 千円		3,224 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円					
		臨時・嘱託職種											
臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
全体事業費(A+B)		5,797 千円		5,553 千円		3,224 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	貸付事業の償還事務であり、償還の約定期間中のため廃止できません。		<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある			<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない			<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	償還中の貸付事業のため事業は継続になります。		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない			<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる			<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	目標設定に達していません。今後の徴収強化が必要です。		<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input checked="" type="radio"/> あまり上がっていない			<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 概ね達成している			<input type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している			<input checked="" type="radio"/> 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	システム導入により管理コスト削減が見込めますが導入コストとの費用対効果は見込めません。		<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない			<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価						
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 2	効率性 1	総合評価 B	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		
	当面の課題	死亡・病気・高齢・破産・行方不明等による長期滞納案件の対策が課題です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 一層の収納努力と事業内容の一層の把握と整理をしてください。					
	改革案と実行計画	滞納者の状況把握に努め、貸付金の徴収事務の見直しをするとともに、回収方法について法的措置も含めた検討が必要になります。										
委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成27年度実施事業対象

PLAN	No.	11	8	基本事務事業名	男女共同参画推進事業	事務事業名	男女共同参画推進事務	公的関与	1	シート作成日	平成28年6月30日		
	部局名	市民部		課名	人権課	主務課長名	大森章司	シート作成者名	小山大介				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		<input type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)	6. 共に生き、共に築くまちづくり		実施計画	事業の開始・終了							
		基本計画(施策)	(2)男女共同参画社会の形成		<input type="radio"/> 1 該当	平成 19 年 ~ 平成 年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
		主要施策	(2)男女共同参画社会への意識改革の推進		<input checked="" type="radio"/> 2 非該当	根拠法令等	男女共同参画社会基本法						
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	市民、行政、企業、市民団体										
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	広報・啓発活動や学校教育、生涯学習など様々な場を通じ、男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直しや意識改革を推進し、男女共同参画社会の実現を図ることを目的とします。									
			今年度	男女共同参画社会実現へ向けて、さまざまな啓発活動を通じて意識改革を推進していきます。									
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 人権啓発・男女共同参画講演会の開催												
	② 広報紙での啓発活動												
	③												
	④												
	⑤												
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標					
	「男女共同参画社会」という用語の周知度	阿波市男女共同参画基本計画(第2次)数値目標より(平成26年度~)	%	目標	95	95	95	100					
				実績									
	「男女雇用機会均等法」という用語の周知度	"	%	目標	95	95	95	100					
				実績									
	「DV」「デートDV」という用語の周知度	"	%	目標	95	95	95	100					
実績													
予算費目	会 計	款	項	目									
DO			平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円		平成27年度の事業のうち、人権啓発・男女共同参画講演会事業は天候不順につき中止しています。						
		県支出金	千円	千円	千円								
		地方債	千円	千円	千円								
		その他特定財源	千円	千円	千円								
		一般財源	951 千円	114 千円	619 千円								
	計(A)	951 千円	114 千円	619 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	577 千円	0.100 人	581 千円	0.100 人	582 千円					
		臨時・嘱託職種											
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円					
全体事業費(A+B)		1,528 千円		695 千円		1,201 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	男女共同参画意識の形成の促進を図るために必要な事業だと考えられます。			<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	男女共同参画意識の高揚を図るために有効な事業です。			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	啓発の機会をより多く提供するなどして、男女共同参画社会に関する意識のさらなる高揚を図る必要があるかと思われませんが、現在の人員を鑑みるに、目標は概ね達成できていると考えます。			<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない				<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				<input type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している				<input checked="" type="radio"/> 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	より一層の男女共同参画意識の形成を促すためには、男女共同参画担当職員を配置するなど、人員の確保が必要と思われます。			<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない				<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 3	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	男女が対等に社会参加し、共に役割や責任を分かち合える社会を築いていくための施策を推進するには、人員増などの環境・条件等の整備が必要と思われます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	第2次基本計画の方向性に沿った事業を今後も進めていきます。					現在実施されている関係部局との連携による開催方法が現地点では良いのではないのでしょうか。講師選択には市民ニーズや事業目的に十分配慮してください。						
	委員会指摘事項												